

令和3年度(2021年度)の耐震化事業の結果について

令和3年度に実施した公共建築物の耐震化事業等の結果は次のとおりです。

1 公共建築物の耐震化事業の状況

(1) 耐震診断(公園維持管理事業)

| 施設名 | 所在地 | 診断結果※ | | | 備考 |
|---------------------------|---------|-------|----------------------|------|---------------------|
| | | Is値 | $C_{TU} \cdot S_D$ 値 | q値 | |
| 鎌倉海浜公園 坂ノ下地区 レストハウス | 坂ノ下34番1 | 0.43 | 0.40 | 1.72 | ・鉄筋コンクリート造 及び鉄骨造 |

(2) 耐震改修工事(完了)(図書館管理運営事業)

| 施設名 | 所在地 | 診断結果※ | | | 備考 |
|-------|-----------|-------|------|----------------------|-------------------------|
| | | | Is値 | $C_{TU} \cdot S_D$ 値 | |
| 中央図書館 | 御成町20番35号 | 診断時 | 0.55 | 0.57 | ・鉄筋コンクリート造 ・R03年度 工事 |
| | | 改修後 | 0.62 | 0.63 | |

※ 診断結果は、各階・各方向について算出した指標の最低値(建物の代表値)を掲載

2 耐震性能の指標について

(1) Is値、 $C_{TU} \cdot S_D$ 値、q値とは

Is値は建物の耐震性能を表す構造耐震指標(Seismic Index of Structure)の略で、建物の構造部材の強度と粘りをもとに、形状や劣化を考慮して算出するもので、Is値が大きいほど、構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性が高いと判断されます。

$C_{TU} \cdot S_D$ 値は主に鉄筋コンクリート造の建築物に適用される、建物の頑丈さを表す指標(終局累積強度指標(C_{TU})と形状指標(S_D)の積で求められる)で、 $C_{TU} \cdot S_D$ 値が大きいほど耐震性能が高いと判断されます。

q値は主に鉄骨造の建築物に適用される、保有水平耐力に係る指標で、地震による水平方向の力に対する建物の強さを表すもので、q値が大きいほど耐震性能が高いと判断されます。

国の基準では、「Isが0.6以上の場合で、かつ、qが1.0以上の場合」又は「Isが0.6以上の場合で、かつ、 $C_{TU} \cdot S_D$ が0.3以上の場合」に、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」とされています。